

「データ社会推進協議会」 設立シンポジウム

— データ利活用によりイノベーションが持続的に起こる世界を目指して

2021年 **1/14** (木)

10:00~12:00

※オンライン開催
(参加費無料/事前登録不要)

共催

- dataex.jp設立準備協議会
- 一般社団法人データ社会推進協議会
(旧：一般社団法人データ流通推進協議会)

後援

一般社団法人日本経済団体連合会

プログラム

オープニング

- 越塚 登 (東京大学情報学環長・教授)

DX時代におけるデータ流通・利活用の在り方と期待 ※メッセージ

- 井上 信治 (内閣府特命担当大臣 (科学技術政策))
- 平井 卓也 (デジタル改革担当大臣)
- 篠原 弘道 (日本経済団体連合会 副会長/デジタルエコノミー推進委員会委員長、日本電信電話会長)

データ社会推進協議会のめざすデータ流通・利活用 ※パネルディスカッション

- 越塚 登 (東京大学情報学環長・教授) ※モデレーター
- 奥井 規晶 (一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会 代表理事)
- 武田 英明 (大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所教授)
- 中島 俊太郎 (一般社団法人 日本IT団体連盟 情報銀行推進委員会)
- 眞野 浩 (一般社団法人 データ流通推進協議会 代表理事(事務局長))
- 村上 文洋 (一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構)

データ社会推進協議会への期待 ※パネルディスカッション

- 越塚 登 (東京大学情報学環長・教授) ※モデレーター
- 坂村 健 (東洋大学INIAD学部長・教授)
- 柴崎 亮介 (東京大学空間情報科学研究センター教授)
- 須藤 修 (中央大学教授)
- 西岡 靖之 (法政大学教授)
- 村井 純 (慶應義塾大学教授)

参加方法

YouTube Liveによる動画配信となります。

※配信URL及び当シンポジウムに関する詳細は
下記URLを参照ください

<https://www.nttdata-strategy.com/events/210114/>



お問い合わせ先

dataex.jp設立準備協議会事務局

株式会社日立製作所

株式会社NTTデータ経営研究所

info_dataexjp@nttdata-strategy.com

登壇者プロフィール①



越塚 登 東京大学大学院情報学環長 教授

1994年 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、博士(理学)。東京工業大学助手、東京大学助教授、同准教授を経て、2009年9月より同 教授。専門は計算機科学、特にIoT (Internet of Things) やLinked Open Data、Operating System、Computer Network等。現在、YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 副所長、一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構 理事、気象ビジネス推進コンソーシアム会長、内閣官房オープンデータ伝道師、等。



井上 信治 内閣府特命担当大臣 (科学技術政策)

昭和44年10月7日生まれ (51歳)。学習院初等科、開成中学・高校、東京大学法学部卒業。英国ケンブリッジ大学修士課程修了。国土交通省・外務省に勤務。2003年11月、公募・予備選を経て衆議院総選挙で初当選。第二次安倍内閣で環境兼内閣府副大臣に就任、第三次安倍改造内閣まで務めた。現在6期目。国際博覧会担当大臣、内閣府特命担当大臣 (消費者及び食品安全、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策)。



平井 卓也 デジタル改革担当大臣

1958年香川県生まれ。上智大学卒。株式会社電通、西日本放送社長等を経て、2000年、第42回衆議院選挙で初当選。以来、連続7回当選。自民党政調副会長、国土交通副大臣、内閣常任委員長、自民党IT戦略特命委員会委員長等を歴任。平成30年第4次安倍改造内閣にてIT政策担当大臣、内閣府特命担当(科学技術・知的財産戦略・クールジャパン戦略・宇宙政策)大臣就任。令和元年10月自民党デジタル社会推進特別委員長に就任。令和2年菅内閣にてデジタル改革担当大臣、情報通信技術(IT)政策担当大臣、内閣府特命担当大臣(マイナンバー制度)就任。



篠原 弘道 日本経済団体連合会 副会長、日本電信電話会長

1978年、早稲田大学理工学研究科修士課程修了後、日本電信電話公社入社。主として研究開発に従事。光アクセスシステムや、折り曲げ可能な光ファイバの開発等、世界に先駆けたFTTH (Fiber To The Home) の戦略企画・推進を指揮。2007年6月情報流通基盤総合研究所長、2009年6月取締役研究企画部門長、2014年6月代表取締役副社長 研究企画部門長を経て2018年6月より現職。日本経済団体連合会副会長。内閣府 総合科学技術・イノベーション会議議員 (非常勤)。



奥井 規晶 一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会 代表理事

株式会社インターフュージョン・コンサルティング 代表取締役会長、日本IBM、ボストンコンサルティング、アーサー・D・リトル、ベリンクポイント等を経て独立、現在に至る。専門は経営戦略関係のコンサルティングでICT/ハイテク業界の大手企業をクライアントに持つ。著作、TV/ラジオ出演等多数



武田 英明 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所教授

国立情報学研究所 情報学原理研究系教授。総合研究大学院大学複合科学研究科情報学専攻教授兼任。1991年東京大学工学系研究科修了。工学博士。ノルウェー工科大学、奈良先端科学技術大学院大学を経て、2006年より現職。2005年～2008年東京大学寄附講座教授、2006年～2010年国立情報学研究所 学術コンテンツサービス研究開発センター長。専門はWeb情報学、人工知能、Semantic Web。



中島 俊太郎 一般社団法人日本IT団体連盟 情報銀行推進委員会 事務局

情報信託機能普及協議会 事務局
2017年より情報銀行の社会実装に向けた実証プロジェクトを複数手掛ける。
2019年10月からは、日本IT団体連盟 情報銀行推進委員会の事務局として委員会運営に従事。
主に情報銀行および認定制度の普及促進を図り、政府・事業者・生活者と連携した普及活動を展開している。

登壇者プロフィール②



眞野 浩 一般社団法人 データ流通推進協議会 代表理事(事務局長)

デジタル無線通信機器や、高速インターネットを実現する無線IPルーターを開発し、地域情報化や学校ネットワーク等への導入を促進。無線LANを用いた高速移動体通信システムの開発、実用化の事業化、無線利用、地域情報化のための各種審議会、研究開発事業にも多数参画。2017年6月無線LAN (IEEE802.11) に関する標準化活動への貢献が評価され総務大臣より情報通信技術賞を授与される。2017年内閣府、総務省、経産省の協力により産学官を越えたデータ流通の推進を目的に、一般社団法人データ流通推進協議会の設立を提唱し、同年11月の設立に伴い理事に就任。2018年5月より代表理事(事務局長)。2018年10月より、内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) AIホスピタルによる高度診断・治療システム担当 サブ・プログラムディレクターに就任



村上 文洋 一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構 (VLED) 事務局

株式会社三菱総合研究所 主席研究員。
専門は、電子行政、オープンデータ、ユニバーサルデザイン。
政府のデジタル・ガバメント分科会構成員、オープンデータワーキング構成員などを務める。



坂村 健 東洋大学INIAD学部長・教授

1951年東京生まれ。
INIAD(東洋大学情報連携学部)学部長、工学博士。東京大学名誉教授。
1984年よりオープンなコンピュータアーキテクチャTRONを構築。TRONは米国IEEEの標準OSとなり世界中で使われている。2015年情報通信イノベーションの多大な 功績を認められ、「ITU150アワード」を受賞。2006年日本学士院賞、2003年紫綬褒章。
著書に『イノベーションはいかに起こすか』(NHK出版)など。



柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター教授

1980年東京大学工学部卒業。1998年東京大学・空間情報科学研究センター教授人間活動・社会経済活動、環境変化などのモニタリング・モデル化・予測などを中心軸として、衛星画像、レーザセンサ、モバイルデータ、デジタル地図データなどの統合や解析手法を開発している。その過程で、ISOやOGCでの標準化活動、地理空間情報活用推進基本法の制定、情報銀行の提唱と社会実装、G空間情報センターの設立、データ解析技術の途上国支援、Code for Myself活動などに尽力している。



須藤 修 中央大学教授、東京大学特任教授、東京大学名誉教授

経済学博士(東京大学、1989年3月)。1999年4月より2020年3月まで東京大学教授。この間、東京大学大学院情報学環長、東京大学総合教育研究センター長を歴任。現在、Member of the OECD Network of AI Experts, Member of the Ad Hoc Expert Group for the preparation of a draft text of a recommendation on the ethics of AI at UNESCO, Member of Responsible AI WG in Global Partnership on AI、内閣府「人間中心のAI社会原則会議」座長など。著書に『複合的ネットワーク社会』(有斐閣)、Digital Economy and Social Design, Springerなどがある。



西岡 靖之 法政大学デザイン工学部 教授

1985年早稲田大学卒業。国内のソフトウェアベンチャー企業でSEを経験し、96年に東京大学大学院・博士課程修了。知識工学、経営工学、生産工学における産学の境界分野に興味を持つ。日本機械学会フェロー、2015年6月に「つながらず工場」のためのゆるやかな標準を策定するインダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ (IVI) を設立。理事長として、データを起点とした中堅・中小製造業のイノベーションの支援に取り組む



村井 純 慶應義塾大学 教授

工学博士。1984年日本初のネットワーク間接続「JUNET」を設立。1988年WIDEプロジェクトを発足させ、インターネットの整備、普及に尽力。初期インターネットを、日本語をはじめとする多言語対応へと導く。内閣官房参与、他各省庁委員会主査等を多数務め、国際学会等でも活動。2013年ISOCの選考「インターネットの殿堂(バイオニア部門)」入りを果たす。「日本のインターネットの父」として知られる。